

News Release

Kanadevia
Technology for people and planet

カナデビア株式会社
2026年2月27日

インド企業とグリーン水素製造分野での MOU を締結 ～ 日印両地域の連携を通じ、グリーン水素の社会実装を推進 ～

カナデビア株式会社は、このほど、インドの石油・鉱物資源および再生可能エネルギーの開発事業者である Infistar Energy Private Limited（グジャラート州アーメダバード）と、インド・ウッタラプラデシュ州におけるグリーン水素製造に関する協議・検討・協力を目的とした MOU（協力覚書）を山梨県甲府市内で締結しました。



【MOU 署名式の様子】

（中央左）山梨県 長崎 幸太郎知事 （中央右）インド・ウッタラプラデシュ州 ヨギ・アディティヤナート州首相
（左端）当社執行役員 脱炭素化事業本部長 山本 淳一（右端）Infistar Chairman & Managing Director Suhrid V. Sarabhai 氏

山梨県とインド最大の人口を有するウッタラプラデシュ州は、2024年12月に互恵関係の構築に向けた基本合意書を締結しており、2026年2月26日にはグリーン水素技術の推進、人的交流、観光交流の更なる連携強化に向け、甲府市内で「国際交流協力に係る意見交換会」が行われました。意見交換会では同州のヨギ州首相のスピーチをはじめ、山梨県の長崎知事らとの活発な意見交換が行われましたが、本 MOU は両自治体のパートナーシップのもと締結されたものです。

インド政府は、2030年までにグリーン水素の年産能力を500万トンに引き上げることを目指しており、再生可能エネルギー由来のグリーン水素は、脱炭素社会の実現に向けた重要なエネルギーとして期待されています。

当社は、山梨県都留市に水素発生装置のキーデバイスである水電解スタックの量産工場を建設予定であり、水素発生装置など当社製品・サービスの提供によりグリーン水素の社会実装を推進し、水素社会およびカーボンニュートラルの実現を通じて、持続可能な社会の構築に貢献してまいります。

(終)